

## 目標達成計画

作成日: 令和 4 年 1 月 9 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	29	現状として地域資源の活用が限定的である。地域資源の把握からさらに活用に繋げるところまでは出来ていない。	イベント的な交流にとどまらず、日常的な関わりを持てるようにと考える。地域の中、また関わりの中で入居者の心身の力を発揮できるようになり、地域社会との関りを自覚できるようになる。		24ヶ月
2	23	現状として入居者は受け身の立場である。職員は入居者の希望や意向を配慮しながら支援は行ってはいるが、事前の情報収集にそってアプローチしており、ご入居者の選択、望みを聞き取る関わりの場面は非常に少ない。	生活の中に当たり前を選択、希望の自由がある。入居者発信での関わりの実現。		12ヶ月
3	13	入居者の高齢化に伴い、重介護を必要とする入居者が増えてきている。介護力の向上が必須となっている。認知症の進行とADLの低下、総合力が求められる。現状としては身体介護の重介が不十分である。	介護技術はどんどん見直されている。入居者の身体状況も年々変化している事から認知症研修と合わせ身体介護研修を行っていく。		12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。